



情報環境機構のサービス

情報環境機構は、学術情報メディアセンターの支援のもと、京都大学におけるあらゆる活動を支えるために必要な高い安全性、利便性を備えた先端的な情報環境を構築、運営することを目指しています。このガイドブックは、情報環境機構が学内外に対して行っている情報サービスの概略をまとめています。学生、教職員の皆さまに京都大学の情報環境利用の際に守っていただきたい情報セキュリティ関係、ご利用いただける情報サービス、ソフトウェアライセンスの全学展開等について記載していますので、ご活用ください。

サービス案内

情報セキュリティ対策				P2
情報セキュリティを守るために必ず行うこと	学生	教職員		P2
禁止事項	学生	教職員		P2
情報セキュリティ e-Learning の受講	学生	教職員		P2
京都大学の情報セキュリティポリシーについて	学生	教職員		P3
パスワードの作り方	学生	教職員		P3
全学認証システムの概要				P4
京都大学から発行されるアカウント (ID)	学生アカウント (ECS-ID)	学生		P4
	教職員アカウント (SPS-ID)		教職員	P5
IC 学生証、認証 IC カード、施設利用証	学生	教職員		P5
全学情報システム		教職員		P5
認証ポータルサイト				P6
全学生共通ポータル	学生			P6
教職員用ポータル(教職員グループウェア)		教職員		P6
京都大学が提供している全学メール				P7
学生用メール KUMOI(くもい) (@st.kyoto-u.ac.jp)	学生			P7
教職員用メール KUMail(くまいる) (@kyoto-u.ac.jp) 文書共有ツール KUMail ストレージサービス		教職員		P7
生涯メール(@kyoto-u.jp)	学生	教職員		P8
ネットワークの利用(京都大学学術ネットワークシステム(KUINS:くいんず))				P9
KUINS-II 接続 —サーバをインターネットにつなぐ—		教職員		P10
KUINS-III 接続 —パソコンをインターネットにつなぐ—		教職員		P10
VPN サービス —学外から学内限定のネットワークにつなぐ—	学生	教職員		P11
eduroam アカウント	学生	教職員		P11
無線 LAN 接続サービス —学内者向けの KUINS-Air と学外者向けの eduroam —	学生	教職員		P12
ビジター用アカウントサービス —一時来訪者にネットワーク環境を提供する—		教職員		P12
クライアント証明書発行システム	学生	教職員		P13
教育用コンピュータシステム				P14
PC 端末の利用 —OSL や部局 サテライト演習室のパソコンを利用する—	学生	教職員		P14
VDI (Virtual Desktop Infrastructure) 授業支援環境 —持ち込みノートパソコンによる利用 (BYOD)—	学生	教職員		P14
Nextcloud (クラウドストレージ)	学生	教職員		P14
授業用ソフトウェアのインストール		教職員		P14
一時利用アカウントの発行 —公開講座、セミナーなどで教育用コンピュータを利用する—		教職員		P14
オープンスペースラボラトリー (OSL)、サテライト演習室の設置場所				P15
遠隔講義、遠隔会議を行う		教職員		P16
学習支援システム (PandA)	学生	教職員		P16
スーパーコンピュータシステム				P17
スーパーコンピュータを利用する	学生	教職員		P17
アプリケーションソフトウェアを利用する	学生	教職員		P17
大判プリンタを利用する	学生	教職員		P17
データセンター情報サービス				P18
ホスティングサービス		教職員		P19
ハウジングサービス —サーバをデータセンターに預ける—		教職員		P19
メールホスティングサービス				P20
メールホスティングサービスを利用する		教職員		P20
その他				
eラーニング研修支援サービス —研修をeラーニング化する—		教職員		P21
iPad ベーパレス会議システム (ECO Meeting)		教職員		P21
キャンパス ICT ラボ —京都大学のための ICT システムの実験場—	学生	教職員		P22
ソフトウェアライセンス管理 —ソフトウェアライセンスを管理する—		教職員		P23
ソフトウェアのライセンス契約サポート	学生	教職員		P24
情報環境機構 施設案内				P25
学術情報メディアセンター北館・南館				P25

情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策 http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/	対象者	学生・教職員
	問い合わせ先	情報基盤課セキュリティ対策掛 i-s-office@iimc.kyoto-u.ac.jp

大学の情報セキュリティを守るためには、一人一人の心構えが何よりも大切です。特に、メールの添付ファイル、Web でアクセスするサイトにはマルウェアが隠されている可能性があります。マルウェアに感染しないように特にメールと Web は用心深く使ってください。また、ウイルス対策ソフトや OS、アプリケーションのアップデートは欠かさず行ってください。

京都大学全体のネットワークである KUINS (P8参照)には、学外との出入口にセキュリティ監視装置が設置されていて、全ての通信を24時間365日監視しています。不正アクセスが疑われる通信を観測すると、学内の通信先に安全確認を行い、日タインターネットから到来する様々なアタックに対処しています。

ただし、ネットワークを監視していれば、安全安心なのかということそうではありません。インターネットはとても便利な道具ですが、情報セキュリティについては利用者一人一人が注意していないと、思わぬ事故(情報セキュリティ・インシデント)に巻き込まれる可能性があります。また、一人の不注意から大学全体が危機的状況に陥ってしまう危険性もありますので、以下を必ずお読みいただき情報セキュリティ対策を行ってください。

情報セキュリティを守るために必ず行うこと

- ・情報セキュリティ e-Learning(下記)を受講すること。
- ・アカウント(ID)、パスワード管理の徹底。人に漏らさない、十分に強いパスワードの設定、定期的な変更など。
- ・コンピュータのOSやアプリケーションのセキュリティアップデートを行い、常に最新に保つこと。
- ・ウイルス対策ソフトを提供者との契約に基づいて利用し、パターンファイル等常に最新化すること。
- ・本学および所属学部・研究科等により定められた規定および利用する情報システムごとに定められた規定を遵守すること。

禁止事項

以下の情報の発信を行ってはなりません。

差別、名誉毀損、侮辱、ハラスメントにあたる情報、プライバシーを侵害する情報、守秘義務に違反する情報、著作権等の知的財産権を侵害する情報、その他法令に基づく処罰の対象となる情報、損害賠償等の民事責任を発生させる情報。

P2Pファイル交換ソフト*の利用について

- ・KUINS-III 接続環境 (P9 参照) では、利用禁止。
- ・KUINS-II 接続環境 (P9 参照) では、部局情報セキュリティ責任者(部局長)を経由して情報環境機構長に事前に届け出て許可を得ること。
- ・著作権のある情報を許可なく配信することは著作権侵害の違法行為となります。
- ・違法配信されている映像やソフトウェアなどの著作物を違法を知らながらダウンロードすることは著作権侵害の違法行為となります。

*P2Pファイル交換ソフト: BitTorrent、LimeWire、Winny、Xunlei などインターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアのこと。

情報セキュリティ e-Learning の受講

京都大学では、全学情報セキュリティ委員会の下、情報や情報技術の安全で効果的な利用のために『e-Learning 方式での情報セキュリティに関する基本的なプログラムを習得』することがすべての構成員に義務づけられています。情報セキュリティ e-Learning は、情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけていただけるよう、ネットワークに接続されたPC端末で学習できるようになっています。次の URL にアクセスし、画面の指示に従って受講してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/index.html>

京都大学の情報セキュリティポリシーについて

京都大学では、情報セキュリティを確保するため、情報セキュリティポリシーを定めています。情報セキュリティポリシーは「基本方針」と「対策規程」からなっており、これに基づいていくつかの実施規程を定めています。

これらの規程類を守って情報セキュリティ対策を行えば情報セキュリティ・インシデントに巻き込まれる可能性が低くなりますが、守らずに情報漏えい等を引き起こせば、情報を管理する責任を問われる可能性もありますので、ぜひ一度しっかりとお読みください。

これらの規程類は下記のURLから参照することができます。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/use/regulation.html>

情報セキュリティに関する報告や相談は、まずは各学部や研究科のセキュリティ連絡窓口、あるいは全学の連絡窓口であるセキュリティ対策掛までお願いします（アカウント通知書に同封されている「情報セキュリティミニガイド」もご参照ください）。

パスワードの作り方

京都大学により付与されるIDとパスワードは、京都大学で情報環境を利用するために非常に重要なものであり、他人に知られると悪用され、思わぬ被害を被る可能性があります。「京都大学全学情報システム利用者パスワードガイドライン」に従って強いパスワードを作り、それを誰にも知られないように厳重に管理してください。

そうすることで、安全に情報環境を活用できます。強いパスワードを作るのはそれほど難しいことではありません。様々な文字（アルファベットの大文字、小文字、数字、記号など）を組み合わせ、できるだけ長いもの（8文字以上）を作ってください。辞書にも載っているような簡単な単語の使用は禁物です。作り方を覚えておけば、忘れてもすぐに作り出せるので安心です。

京都大学全学情報システム利用者パスワードガイドライン（抄）

（平成22年1月12日情報環境機構長裁定）

2. パスワードに係る全般的な注意事項

2.1 初期パスワードの変更

利用者等は、アカウントが発行されたら直ちに初期パスワードを自己のものに変更すること。初期パスワードのまま情報システムの利用を継続してはならない。

2.2 パスワードに使用する文字列

利用者等が設定するパスワード文字列は、以下の条件を全て満足するものでなければならない。

- ・最低限8文字以上の長さを持つ。
- ・以下ア)～ウ)の英数字集合から各最低1文字以上を含み、エ)を加えても良い。
 - ア)英大文字(A～Z)
 - イ)英小文字(a～z)
 - ウ)数字(0～9)
 - エ)記号(@!#\$%&=-+*/.:;[]_)

また、以下の文字列は容易に推察可能であるため、パスワードとして設定してはならない。

- ・利用者等のアカウント情報から容易に推測できる文字列(名前、ユーザID等)
- ・上記を並べ替えたもの、上記に数字や記号を追加したもの
- ・辞書の見出し語
- ・著名人の名前等固有名詞

全学認証システムの概要

全学認証システムは、京都大学構成員が教育研究およびそれら業務に関する全学の情報システム等をより便利に安心してご利用いただくためのシステムです。

個人認証のための全学 ID (ECS-ID、SPS-ID) 又は IC カード (電子証明書) を利用し、便利で安全なシングルサインオン認証を実現しています。

これらのサービスを支えているのが、電子証明書を発行する京都大学認証局、ID やパスワードの情報を保管している統合 LDAP、学生証・認証 IC カード等の IC カードです。なお、統合 LDAP、Shibboleth 認証連携システム、IC カードは部局でのご利用が可能です。

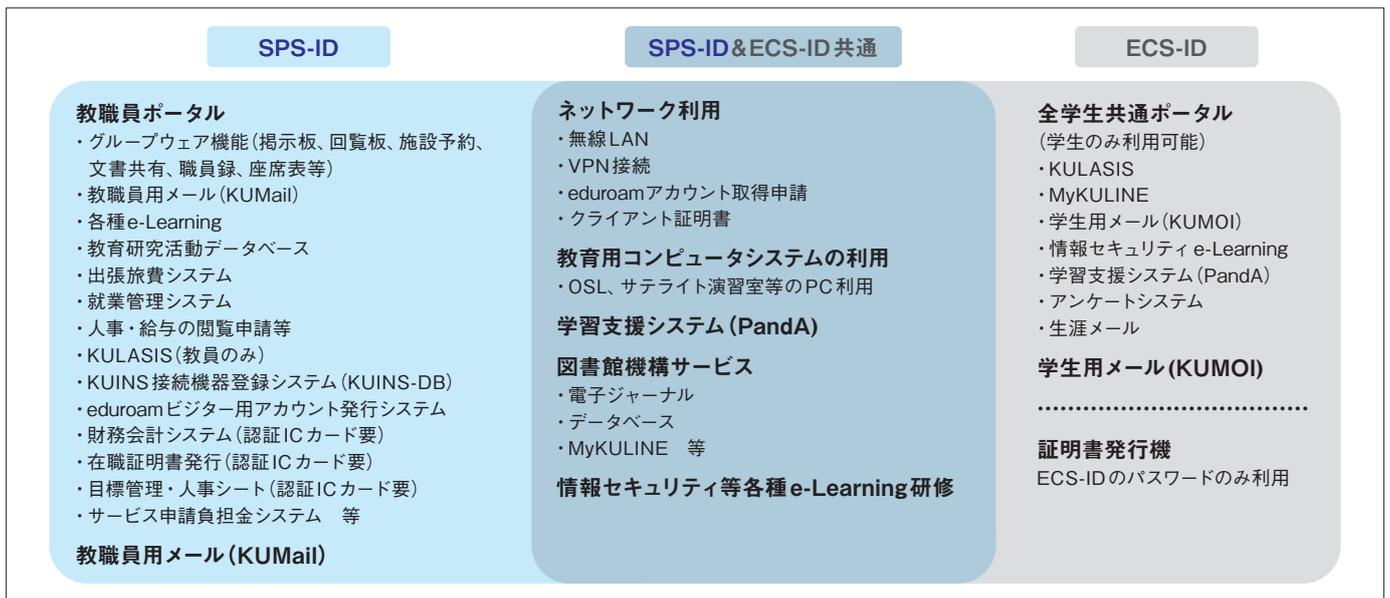
京都大学から発行されるアカウント(ID)

京都大学が発行するアカウントは、学生アカウント (ECS-ID) と教職員アカウント (SPS-ID) の2種類があります。

学生アカウント (ECS-ID) は、全学生に対して京都大学への入学時に発行されるアルファベットと数字を含んだ ID です。

教職員アカウント (SPS-ID) は京都大学の教職員に発行される、姓名のアルファベットと数字を含んだ ID です。

ECS-ID と SPS-ID は下図のような情報環境機構サービス以外にも、各部局提供のサービスにも使われています。利用できる部局提供のサービスについては、所属部局にお問い合わせください。



学生アカウント (ECS-ID)	対象者	学生 学部生、大学院生、研究生、聴講生、科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生などの全学生 その他 教職員アカウント (SPS-ID) が発行されない非常勤講師、名誉教授、招へい外国人学者、外国人共同研究者、学振特別研究員、学振外国人特別研究員、研修員、受託研究員、民間等共同研究員など
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

ECS-ID の発行

学生の方

1. 新規取得

4月又は10月入学の場合は、所属学部等(研究科、附置研究所、センターなどを含む)を通じて『学生アカウント通知書～京都大学のITサービスを利用するために～』を配付します。4月又は10月入学以外の場合は、所属学部等から発行された身分証明書を持ってお近くの窓口(次ページ参照)へお越しください。

2. 利用停止と継続申請

卒業などにより学生の身分がなくなれば ECS-ID は停止します。学生アカウントの対象者に該当することとなる場合は、窓口で継続申請(身分変更)の手続きをしてください。

学生以外の方

1. 新規取得

下記のいずれかの身分証をご持参のうえ窓口にお越しください。

- ・ 京都大学発行の身分証
- ・ 部局の長の公印付受入証明書
- ・ 日本学術振興会発行の身分証

2. 利用停止と継続申請

名誉教授、日本学術振興会特別研究員以外の方は年度が変わった時点で利用延長の手続きが必要です。

継続して利用を希望する場合は、上記いずれかの身分証をご持参のうえ、窓口で継続申請の手続きをしてください。

窓口一覧

- ・ 吉田南構内 学術情報メディアセンター南館1階
- ・ 北部構内 理学研究科化学図書室
(理学研究科化学専攻所属の方のみ)
- ・ 医学部構内 医学図書館
- ・ 桂キャンパス 工学研究科附属情報センター
- ・ 宇治キャンパス 附属図書館宇治分館
- ・ 犬山地区 霊長類研究所図書室
- ・ 熊取地区 原子炉実験所図書室
- ・ 大津地区 生態学研究センター図書室

学術情報メディアセンター南館以外では当日処理ができませんので、継続申請は日数に余裕をもって行ってください。

教職員アカウント(SPS-ID) http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/sps_id/	対象者	教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)、その他部局長が必要と認める者
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

SPS-IDの発行

部局の担当からの電子申請に基づき発行しています。アカウント通知書は採用時に部局の担当事務を通じてお渡しします。

京都大学の籍がなくなるとSDS-IDは停止します。

IC学生証、認証ICカード、施設利用証 http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/use/type.html	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

IC学生証や、教職員に配付される認証ICカード・施設利用証は、かざすだけで情報の読み取りができる非接触型のICカードになっています。カードリーダーにかざすだけで入退館管理や電子マネーでの支払いができます。また、認証ICカードには、より安全な認証のための電子証明書が格納されています。

ICカードで利用可能なサービス(部局により異なる場合があります)

カード種別	対象者区分	利用可能な機能
IC学生証	学部学生、大学院生	証明書自動発行 ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 授業出席管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(生協組合員のみ)
認証ICカード	総長、理事、監事、教職員(学外非常勤講師、TA/RA/OA、短期雇用者を除く)、部局の長が必要と認める者	セキュアなシステムへのICカードによるログイン ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(生協組合員のみ)
施設利用証	上記以外で、施設利用証を用いて入退館等を行う者	入退室(館)管理

全学情報システム	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

認証に利用しているサービスやシステム(全学認証システム)は全学情報システムに指定されており、下記のURLの中の「全学情報システム利用規則」に従ってご利用いただけます。皆さんの大切な認証情報ですので、十分に注意してご利用ください。

情報セキュリティ関連規程：<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/use/regulation.html>

認証ポータルサイト

全学生共通ポータル https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/	対象者	学生
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

学生を対象としたポータルサイトで、学生アカウント(ECS-ID)とパスワードでログインします。

講義情報の確認、図書館機構サービス、電子メール、インターネット上での学習システムといった学生生活に欠かせない情報システムやサービスを安全・便利に利用できます。

※ECS-ID取得者のうち学生以外の方はアクセスできません。学生以外の方はそれぞれのURLからアクセスしてください。

メニュー

- ・KULASIS(教務情報システム)
- ・MyKULINE
- ・学生用メール(KUMOI)
- ・情報セキュリティ e-Learning
- ・学習支援システム(PandA)
- ・アンケートシステム
- ・生涯メール



教職員用ポータル(教職員グループウェア) https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報推進課 電子事務局掛 e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)を対象としたポータルサイトで、教職員アカウント(SPS-ID)とパスワードでログインします。安全・安心にご利用いただくために、専用の認証システムを構築しているほか、多くの機能を有しており、教職員の利便性の向上に貢献しています。

基本的な機能

- ・シングル・サインオン：人事・給与申請閲覧等、財務会計システム(認証ICカードによる追加認証が必要)、出張旅費システムなどに再認証せずにログインすることができます。

メニュー

- ・掲示板：教職員へのお知らせを掲載・閲覧できます。
- ・教職員用メール(KUMail)：全教職員の情報伝達を安全かつ効率的に行うインフラです。
- ・予定表：教職員の予定情報を共有し、会議や打ち合わせの日程調整など日々の業務の効率化を図ります。
- ・スケジュール調整：教職員間で会議や打合せの日程調整を簡単に行うことができます。
- ・回覧板：特定の方々への通知方法として利用できます。メールとは異なり誰が既読/未読であるかをその閲覧グループ内で確認できます。
- ・施設予約：会議室や貸出物品等について、空き状況の確認・予約等ができます。
- ・文書共有：教職員が使用する文書等を共有することができます。
- ・その他、eduroamビジター用アカウント発行システム、KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)、各種e-Learning研修、京都大学規程集、役職者内線番号一覧、各事務部座席表、職員録、在留資格代理申請/国際交流会館入居申請システム、資産の供用公募等もこちらからご覧いただけます。

京都大学が提供している全学メール

本学の学生・教職員に対して安全かつ迅速な情報伝達手段の確保を図るとともに、本学の教育・研究、業務(学生を除く)およびその他の個人の責任で利用していただくために、全学メールを提供しています。同時に学生、教職員への同報メールの確立と安全かつ利便性の高いメール環境を実現することを目的としています。

学生用メール KUMOI (くもい) @st.kyoto-u.ac.jp http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumoi/	対象者	学生アカウント(ECS-ID)所有者
	問い合わせ先	情報基盤課 教育用システム管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

京都大学に入学された際にECS-IDと併せて発行しています。スプール機能を有しており、送受信可能なメールアドレスです。

在学中の京都大学からのお知らせや学部からのお知らせなどは、このアドレス宛にお送りします。

卒業・修了等で京都大学を離れられるとご利用いただけなくなります。

学内外を問わずインターネットに接続されたWeb ブラウザから利用できるWebメールとしての利用の他、OutlookやThunderbirdなどのメールソフトからPOP over SSL、IMAP over SSLによる受信ができます。

本サービスは、マイクロソフト社のクラウドサービス(Office365)を利用して運用しています。

KUMOI直接URL <https://mail.st.kyoto-u.ac.jp/>

教職員用メール KUMail (くまいる) @kyoto-u.ac.jp http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail/	対象者	教職員アカウント(SPS-ID)所有者
	問い合わせ先	情報環境支援センター (KUMail 担当) kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学の教職員の方に入職の際にSPS-IDと併せて発行しています。スプール機能を有しており、送受信可能なメールアドレスです。

在籍中の京都大学からのお知らせは、このアドレス宛にお送りします。

京都大学を離職されるとご利用いただけなくなります。

主な利用法は、1) Webメールとして利用、2) 現在お使いのメールソフトでの利用、3) 現在お使いのメールアカウントへの転送です。京都大学教職員グループウェアからも利用できます。

本サービスは、学内の汎用コンピュータシステム上で運用されています。

KUMail直接URL <https://mail.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

文書共有ツールKUMailストレージサービス http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail_fsv/

SPS-ID取得者を対象としてKUMailストレージサービスを提供しています。

学内のサーバにインターネット経由でファイルを保存し、相手にそのURL(保存場所)を通知することで、学内外の研究者と大容量のファイルでも送信・共有することができる、オンラインストレージサービスです。利用者(教職員)ごとに2GBのユーザフォルダが利用できます。

ダウンロード時のメール認証やパスワード設定を行うことで、安全にファイルを受け渡すことができます。また、メールにファイルを添付しないため、送付先の容量制限を気にする必要もなく、メールサーバやネットワークへの負荷を軽減することも期待できます。

KUMailストレージサービス 直接URL <https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

安心・安全な メール活用法

—メールリテラシー向上のために—

01 重要な情報を 送信してはいけません!

メールの配送経路はすべて暗号化されているわけではありません。

そのため、経由したサーバやネットワーク上で内容を傍受される危険性を持っています。

メールでは機密情報を送信してはいけません。

02 添付ファイルは 極力避けましょう!

大きな添付ファイルはネットワークやサーバの負荷につながり、受信者にも迷惑がかかります。

ファイルの受け渡しには情報環境機構が提供するファイル共有サービス(*)をご利用ください。

※KUMailストレージ、教職員ポータル(文書共有、大容量文書)を指します。

03 標的型攻撃 メールに注意!

標的型攻撃メールとは、特定の組織等の情報搾取を目的として行われるメール攻撃です。

見知らぬ差出人等からのメールは、添付ファイルの開封、本文URLのアクセス、ID・パスワードの入力を行ってはいけません。

不審なメールを受信した場合は、次の標的型等通報メールアドレスへ通報ください。

sbox@sbox.iimc.kyoto-u.ac.jp

—2016年12月発行リーフレットより—

生涯メール @kyoto-u.jp http://www.lm.iimc.kyoto-u.ac.jp/kulml/	対象者	正規の在學生・卒業生・修了生、役員及び常勤の教職員(退職者を含む)
	問い合わせ先	生涯メール担当 lmsupport@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京大大学生涯メールアドレスサービスは、京都大学の正規の在學生・卒業生・修了生、役員及び常勤の教職員(退職者を含む)を対象とした無料のメール転送サービスです。

京都大学と対象者の皆様との連携、卒業生・修了生等同窓生の相互の交流促進、同窓会を介した社会連携体制の強化等を目的として2016(平成28)年2月にサービスを開始しました。

シンプルなドメイン名(@kyoto-u.jp(acは付きません))の生涯メールアドレスを提供します。このメールアドレスは転送専用ですが転送先に常に有効なメールアドレスを登録しておくことで、大学を離れてからも生涯にわたってご利用いただけます。

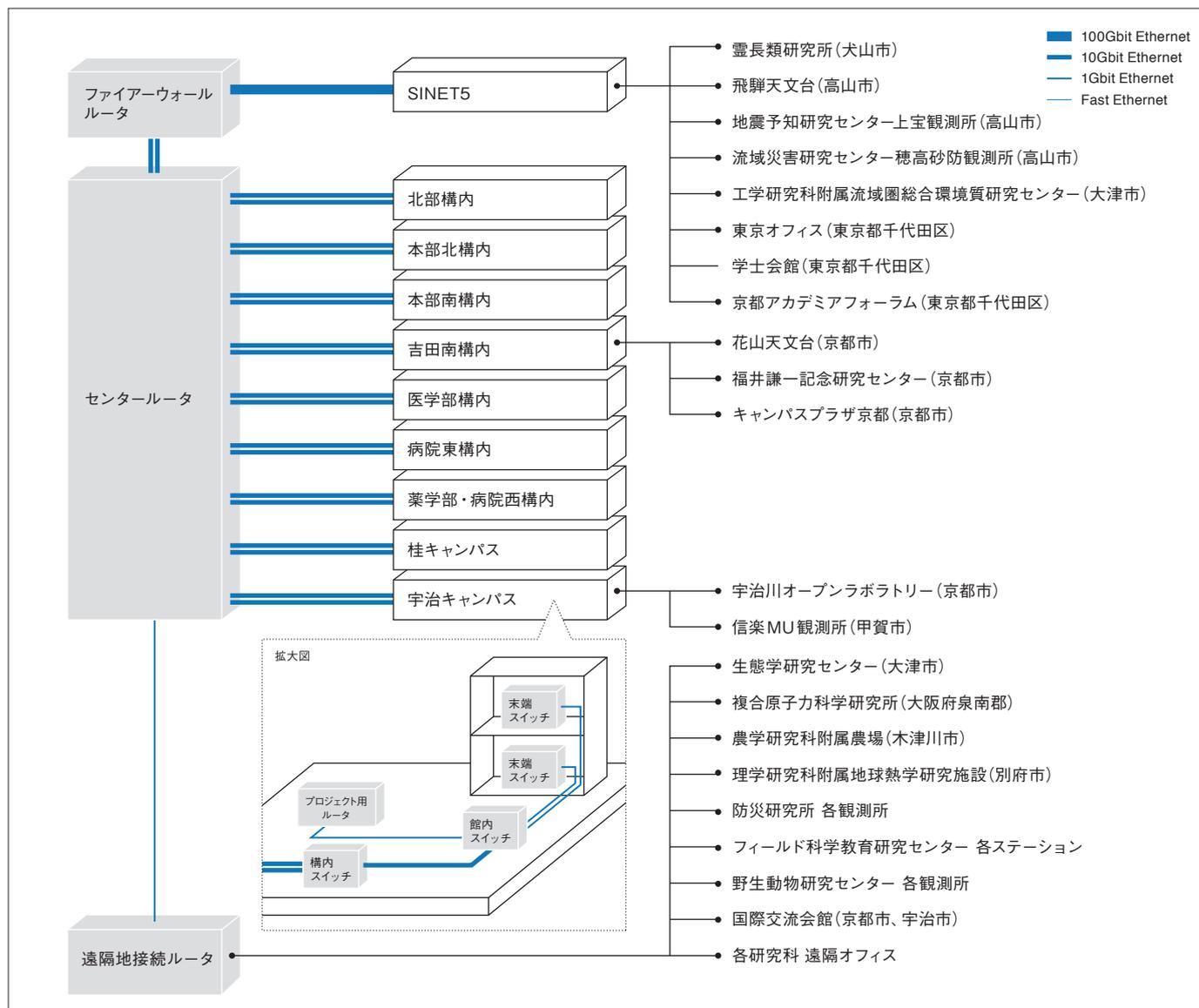
また、学部・研究科の卒業生等の生涯メールアドレスは、所定の手続きを取っていただくことにより、部局(同窓会)にも提供する予定です。

ネットワークの利用 (京都大学学術情報ネットワークシステム (KUINS:くいんず))

京都大学学術情報ネットワークシステム(KUINS : Kyoto University Integrated information Network System) は、京都大学の全学的なコンピュータネットワークであり、吉田キャンパス、宇治キャンパス、桂キャンパスをはじめ犬山(愛知県犬山市)や熊取(大阪府泉南郡)などの遠隔地まで、全学の主要な施設をカバーしています。学外のインターネットとはSINET5(国立情報学研究所が運用管理している国内の学術研究用ネットワーク)等を介して接続されています。

ネットワークの基幹部分には、ファイアーウォール、不正アクセス監視装置、ウイルスチェックサーバ、SPAMメールチェックサーバ等を導入し、常時セキュリティ対策を行っています。

情報環境機構では、通信に利用する各種サーバ、センタールータ、構内スイッチから、各施設のフロアごとに設置している末端スイッチや共用無線LANアクセスポイントまで、KUINSのネットワークインフラを維持・管理しています。また、提供サービスとして、学内でネットワークを利用するための利用申請の受付および設定、VPN接続サービスの運用、遠隔地におけるKUINSの利用支援を行っています。



京都大学学術情報ネットワークシステム システム図

システム利用案内 「管理責任者」、「支払責任者」は本学教職員である必要があります。

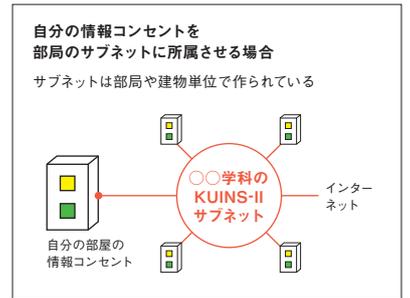
利用資格	教職員
利用負担金	必要 KUINS-II : IPアドレス1つにつき 月額 1,750円 KUINS-III : 情報コンセント1個につき 月額 350円
使用できる予算科目	研究経費(教育研究事業費)、教育経費(教育研究事業費)、受託研究費、一般管理費(教育研究事業費)、教育研究支援経費(教育研究事業費)、教育研究支援経費(厚生補導費)
申請	「KUINS 接続機器登録データベース(KUINS-DB)」から電子申請 ※教職員グループウェア<業務リンク>ネットワーク申請等<KUINS 接続機器登録データベース

KUINS-Ⅱ接続 ーサーバをインターネットにつなぐー http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINS-Ⅱは、グローバルIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信を行うメールサーバやWebサーバ等をKUINSのネットワークに接続します。KUINS-Ⅱに接続する機器は、サーバやPCごとの管理責任者や、サーバ等の固有情報を登録して端末からネットワークに接続できるようにし、高いセキュリティレベルを確立しています。

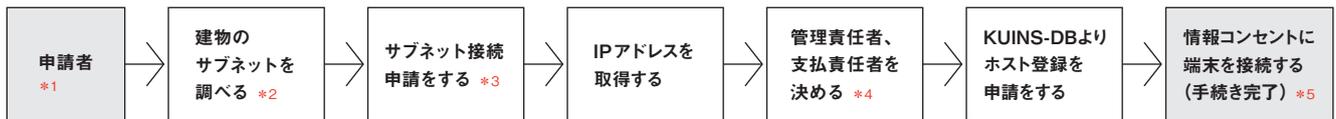
原則として建物単位又は部局単位でKUINS-Ⅱのサブネットを割り当てており、各サブネットの「サブネット連絡担当者」がグローバルIPアドレスを管理しています。

機器を接続するには、利用したい情報コンセントをサブネットに所属させ、IPアドレスや接続機器の情報を「KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)」に登録する必要があります。なお、グローバルIPアドレス1つごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-Ⅱ利用例

KUINS-Ⅱ 利用の申請手続き



- *1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。
- *2 建物のサブネットおよびIPアドレスを管理しているサブネット連絡担当者がわからない場合は、お問い合わせください。
- *3 サブネット接続申請書
- *4 管理責任者、支払責任者になる方は、本学教職員である必要があります。
- *5 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、情報環境機構ホームページ「学術情報ネットワーク(KUINS)」を参照ください。
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/>

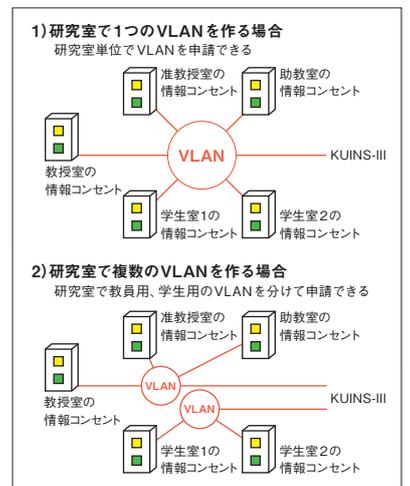
KUINS-Ⅲ接続 ーパソコンをインターネットにつなぐー http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINS-Ⅲは、プライベートIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信する必要のない個人のPC等を接続します。KUINS-Ⅲと学外との通信は、プロキシサーバやNATサーバを経由して行います。

各施設の部屋に設置された情報コンセントでVLAN (Virtual LAN) と呼ぶ論理的なサブネットを形成することができます。研究室単位でVLANを構築することはもちろん教員用、学生用などとVLANを細分化して構築することも可能であり、管理者の運用ポリシーを反映させることができます。IPアドレスは、DHCPによって割り当てられるアドレス、固定アドレスの両方が利用できます。

KUINS-Ⅱではあらかじめ建物単位又は部局単位でサブネットを割り当てていますが、KUINS-Ⅲでは、研究室や個人でVLANの利用申請を行う必要があります。利用申請はKUINS-Ⅱと同様に「KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)」から行います。

HUBを利用し1つの情報コンセントに複数の端末を接続することも可能です。なお、登録した情報コンセント1ポートごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-Ⅲ利用例

KUINS-Ⅲ 利用の申請手続き



- *1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。
- *2 管理責任者、支払責任者になる方は、本学教職員である必要があります。
- *3 研究室や事務室のKUINS-ⅢのVLANにはCLOSE設定を選択してください。自習スペースなど開かれた利用環境では後述の認証付き情報コンセントサービスをご利用ください。
- *4 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、情報環境機構ホームページ「学術情報ネットワーク(KUINS)」を参照ください。
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/>

VPNサービス ー学外から学内限定のネットワークにつなぐー http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

学外から学内限定のネットワークにつなぐVPN(Virtual Private Network) サービスを利用すると自宅や職場など学外のネットワークから、学内に限定して提供されているオンラインサービス(電子ジャーナルの閲覧、教職員グループウェアの利用等)に安全にアクセスすることが可能となります。

VPN サービスとして下記を提供しています。ECS-ID又はSPS-IDをご利用の学内構成員のみなさまがご利用いただけます。

- IKEv2 (Windows、macOS、iOS)
- SSTP (Windows)
- OpenVPN (Windows、macOS、iOS、Android)

IKEv2(Internet Key Exchange Protocol Version 2) 接続

IKEv2 サービスはECS-ID又はSPS-IDでのパスワード認証もしくは後述のクライアント証明書による認証でご利用いただけます。本サービスは利用されるネットワーク環境においてUDPプロトコルの500番ポートとESPプロトコル(ESPの代替としてUDPプロトコルの4500番ポート)が通信許可されている必要があります。

ご自宅のブロードバンドルータであれば「VPNパススルー」のような設定項目名が該当することが多いですが、詳細は契約しているプロバイダ業者へご確認ください。

また、KUINS-DBにより研究室VLANの管理責任者の方が「KUINS-AirやVPNでの接続を許可するID」にご利用になるECS-ID又はSPS-IDを事前登録していただければ、「ID@12345」のように、ECS-IDやSPS-IDの後ろに「@VLAN管理番号」を付与したIDを用いることで、当該研究室VLANに接続することができます。(VLAN固定接続方式とします)

利用方法・接続設定方法:

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/ikev2.html>

SSTP(Secure Socket Tunneling Protocol) 接続

SSTP サービスはクライアント証明書による認証でご利用いただけます。

SSTPの接続にはWeb閲覧に利用するTCPプロトコルの443番ポートを使うため、ほとんどのネットワーク環境でご利用いただけます。

前述のIKEv2がご利用いただけない場合でも接続できる可能性があります。

利用方法・接続設定方法:

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/sstp.html>

OpenVPN 接続

OpenVPN サービスはSSTP同様クライアント証明書による認証でご利用いただけます。比較的許可されているTCPプロトコルの1194番ポートを利用するため、こちらもご自宅のネットワーク機器などの問題でIKEv2が使えない場合に代替手段としてご利用ください。

利用方法・接続設定方法:

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/openvpn.html>

eduroamアカウント http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/eduroam.html	対象者	学生
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

eduroam(<http://www.eduroam.jp/>)は、世界中の大学等教育研究機関の間での無線LANローミング(相互利用)環境を提供するサービスで、京都大学もこのサービスに参加しています。

eduroam 利用アカウントは、下記のeduroam認証連携IDサービスにアクセスし、京都大学を選択し、ECS-ID又はSPS-IDでログインして取得してください。

このアカウントは京都大学だけでなく世界中の参加機関内で利用できます。

eduroam 認証連携ID サービス <https://federated-id.eduroam.jp/>

無線LAN接続サービス — 学内者向けのKUINS-Airと学外者向けのeduroam — http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

京都大学内で使用できる無線LANの種類は学内者向けの「KUINS-Air」と学外者向けの「eduroam」と「キャリアWi-Fi(公衆無線LAN)」の3種類です。

KUINS-Air

SPS-ID又はECS-IDで認証すれば、KUINS-IIIへ接続し学内及び学外のネットワークを利用することができます。

また、KUINS-DBにより研究室VLANの管理責任者の方が「KUINS-AirやVPNでの接続を許可するID」にご利用になるECS-ID又はSPS-IDを事前登録していただければ、「ID@12345」のように、ECS-IDやSPS-IDの後ろに「@VLAN管理番号」を付与したIDを用いることで、当該研究室VLANに接続することができます。

eduroam

KUINSではなく学外ネットワークへ接続するため、学外インターネットは利用できますがグループウェアや電子ジャーナルなど学内制限のサービスへは接続できません。

eduroam (<http://www.eduroam.jp/>) という、世界中の大学等教育研究機関の間での無線LANローミング(相互利用)環境を提供するサービスとの連携によりeduroam 加盟機関が提供するアカウントで利用できます。また、後述のビジター用アカウントで一時来訪者の方も利用可能です。

公衆無線LAN(キャリアWi-Fi)

携帯電話の3社(NTTドコモ、KDDI(au)、SoftBank)が提供しているWi-Fiサービスをご利用いただけます。

無線LAN 機器設置場所

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/wifi_ap.html

※ eduroamアカウントは、eduroamに加盟している世界中の大学教育機関の無線LAN環境でご利用いただけます。

京都大学では下記のURLにアクセスし、ECS-ID又はSPS-IDでログインしてeduroamアカウントを取得してください。

<https://federated-id.eduroam.jp/>

ビジター用アカウントサービス — 一時来訪者にネットワーク環境を提供する — http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/kuins/use/visitor.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

一時来訪者へのインターネット接続サービスとして、ビジター用アカウントを提供しています。ビジター用アカウントは無線LANの「eduroam」をご利用いただけます。発行は、SPS-ID所有の京都大学の教職員限定となっています。

ビジター用アカウント申請・発行方法

eduroamJPの認証連携IDサービス(<https://federated-id.eduroam.jp/>)にログインし、「ビジター用アカウント発行機能」から申請してください。

ゲスト利用者お一人に対し1アカウントのご提供をお願いします。利用者の情報はアカウント利用期限終了から3ヶ月間保管しておいてください。

eduroamビジターアカウントは「最長1か月」と「最長1週間」の区分があります。お一人で発行できる件数は「最長1ヶ月」は最大10件まで、「最長1週間」は最大100件までです。



クライアント証明書発行システム(学内限定)

対象者	学生・教職員
問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/client-cert/>

本サービスを利用することで、国立情報学研究所(NII)の「UPKI電子証明書発行サービス」で発行されるクライアント証明書を数分で簡単に取得することができます。

ご利用いただけるのは本学の学生・教職員で、取得に際してはECS-ID 又は SPS-ID が必要です。

【取得できる証明書の種類】

本サービスで取得できるクライアント証明書は以下の2種類です。

個人証明書：KUINS が提供する VPN や無線LANの接続時の認証に利用できます。

S/MIME証明書：全学メール(KUMOI 又は KUMail)用の暗号化・電子署名などに利用できます。

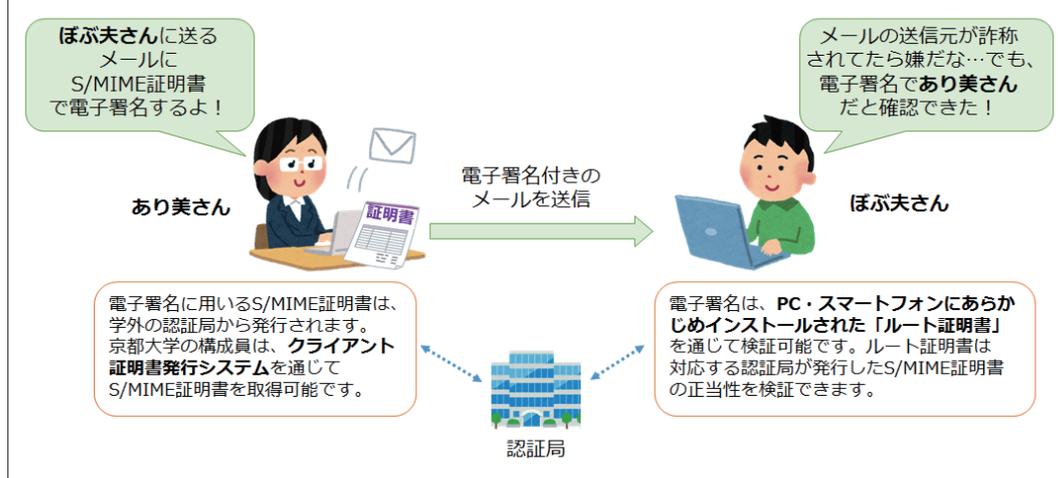
クライアント証明書発行システム <https://shibcert.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

- 秘密鍵を含む証明書ファイルを紛失したり漏洩した可能性がある場合は必ず失効処理をお願いします。
- 証明書の有効期限が過ぎた場合は再取得してください。

個人証明書の利用例(ネットワーク接続)



S/MIME証明書の利用例(電子署名)



教育用コンピュータシステム

教育用コンピュータシステムは、本学の情報教育のために提供されているシステムです。情報教育を支援するため、学術情報メディアセンター南館及び各学部等に情報教育や語学学習(CALL)用演習室を設置しています。学生の自主学習用として、学術情報メディアセンター南館1階東側、附属図書館3階、吉田南総合図書館2階の3箇所のオープンスペースラボラトリ(OSL)にPC端末を設置しています。これらのサテライト演習室やOSLのパーソナルコンピュータ端末(PC端末)は学生は学生アカウント(ECS-ID)で、教職員は教職員アカウント(SPS-ID)で利用できます。これらのPC端末は、オペレーティングシステム(OS)として、Windows10が利用できることや、ファイルサーバと接続されていることにより、どこかのPC端末からでも同一の利用者のファイルを読み書きできます。

PC 端末の利用 —OSLや部局サテライト演習室のパソコンを利用する— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/terminal http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/call/autonomous	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

各学部のサテライト演習室は、当該部局の情報教育に関わる専門科目を中心に授業が実施されています。学部によっては、サテライト演習室で授業がない時間帯を所属の学生に開放しているところもありますので当該学部の教務掛にお尋ねください。

OSLは、授業と関係なく開館中はいつでも自由にPC端末が利用できます。個人ファイルの格納制限は10GBまでです。

*サテライト演習室・OSL配置図(次ページ参照)

VDI (Virtual Desktop Infrastructure) 授業支援環境 —持ち込みノートパソコンによる利用(BYOD)— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

Windows10及びLinux端末環境をサテライト演習室とOSLのPC端末や、利用者のPCからリモートデスクトップとして利用できます。

Nextcloud(クラウドストレージ)	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

教育用コンピュータシステムで保存しているファイルを利用者のPCから利用できます。

授業で利用したファイルを利用者のPCにダウンロード・同期し、課題レポート作成などご利用いただけます。

授業用ソフトウェアのインストール http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/class/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

授業担当教員からの申請に応じて、授業に必要なソフトウェアを学期ごとにインストールし提供しています。インストールするソフトウェアについては、年2回(前期分:12月、後期分:6月)申請を受け付けています。

一時利用アカウントの発行 —公開講座、セミナーなどで教育用コンピュータを利用する— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/use/tempaccount.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

公開講座、セミナーなどで京都大学構成員以外の方にも一時的に教育用コンピュータシステムをご利用いただける「一時利用アカウント」を発行しています。

一時利用アカウントの申請は京都大学教職員からの申請に限っており、利用は申請者の管理下で行っていただきます。

ご希望の方は利用予定日時、利用者数など事前にご相談のうえ、「一時利用アカウント交付申請書」を情報環境支援センターまで提出してください。

オープンスペースラボラトリー(OSL)、サテライト演習室の設置場所

①-③ OSL 設置場所

吉田キャンパス

- ① 附属図書館 3階
- ② 吉田南総合図書館 2階
- ③ 学術情報メディアセンター南館 1階



④-⑭ サテライト演習室設置場所

各部に設置のサテライト演習室のご利用は原則として当該部に所属の方に限ります。詳細は各部局へお問い合わせください。

④	総合人間学部/人間・環境学研究科	総合人間学部棟 2階1206、3階1305LL 教室
⑤	国際高等教育院	吉田南総合館 北棟 共北21、23、24 東棟 共東22
⑥	文学部/文学研究科	文学部校舎 3階L312
⑦	教育学部/教育研究科	教育学部本館 2階226教室、4階420 教室
⑧	経済学部/経済学研究科	法経済学部東館 地階情報演習室 1
⑨	理学部/理学研究科	理学研究科 6号館南棟 2階210
⑩	医学部/医学研究科	医学部総合解剖センター 2階実習室
⑪	医学部/医学研究科	医学部人間健康科学科西棟 1階端末室
⑫	工学部/工学研究科	工学部物理系校舎 1階124情報処理演習室 1 2階230情報処理演習室 2
⑬	農学部/農学研究科	農学部総合館 2階W222、W228
⑭	学術情報メディアセンター	学術情報メディアセンター南館 2階演習室 203、204、3階演習室 303

(2018年4月現在)

※最新情報は情報環境機構WEBサイトにてご確認ください。

遠隔講義、遠隔会議を行う http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/distlearn/lecture	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛(遠隔講義支援担当) dl-qa@media.kyoto-u.ac.jp

本学のキャンパス間で行われる遠隔講義から、国内の他大学・研究機関との遠隔講義、海外の大学との遠隔講義に至るまで、幅広いニーズに応じた遠隔講義の実施を支援しています。学内に20箇所程度配備された高精細遠隔講義システムは、H.323と呼ばれる国際標準規格に準拠していますので、国内外の様々な遠隔会議・講義システムと接続可能です。その他、様々なネットワーク環境に応じた機器と長年蓄積したノウハウを活用して遠隔講義をサポートしています。

また、海外・国内・学内との間の遠隔会議の実施に関する相談も受け付けています。

遠隔講義の実施には、機材・人員の確保などの事前準備を行っておく必要があります。具体的な期日や内容が未定でも、できるだけ早くご相談ください。

学習支援システム(PandA) http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/lms/	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報基盤課 教育用システム管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

2013(平成25)年度前期より学習支援システム(PandA)の運用を開始しています。学習支援システムは授業と連動するコンテンツをWebブラウザから教員と学生が利用するサービスで、授業の運営における教員と学生の活動を支援するために導入しました。

授業資料の配布、学生からの課題提出、小テストなどを行うことができます。一部の機能はKULASIS(京都大学教務情報システム)と重複します。

これについてはどちらを利用するか、個々の授業の中で方針をお決めください。

またOCWと異なり教員、学生の認証を経て利用していただくシステムで、授業活動そのものの支援を目的としています。

コースサイト開設方法、利用方法は下記URLをご参照ください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/lms/>

学習支援システム(PandA)の入口: <https://panda.esc.kyoto-u.ac.jp>



ログイン | Log in

PandA

Kyoto University CyberLearningSpace for People and Academe

Welcome

About Sakai

Features

Reset Password

ヘルプ

Gateway: 本サイトについて 🔍 🗨

このサイトは京都大学の教員・学生が授業等で利用するオンラインコースサイトを利用するために用意されています。PandAへは、右上のログインボタンからお入りください。

PandAの説明、利用マニュアルは下記のページよりご覧下さい。

[京都大学情報環境機構 PandA ご案内](#)

Gateway: きょうのメッセージ 🔍 🗨

PandAとKULASISの連携について
(ECS Admin - 2017/12/20 13:27)

【再掲】 毎朝4時~6時はシステム保守です
(ECS Admin - 2017/12/20 13:26)

【教職員の皆様】 リソースツールでのファイルの利用について
(ECS Admin - 2017/10/31 10:15)

Gateway: PandAの活用法 🔍 🗨

以下のサイトではPandAの活用法について、事例をもとに紹介しております。

[CONNECT 「Projects」 ページPandAへ](#)



ICT活用教育のためのポータルサイト

CONNECT

京大でオンラインしよう!

for link education and communication with technology

スーパーコンピュータシステム

スーパーコンピュータを利用する	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報環境支援センター（スパコン担当） zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

スーパーコンピュータシステムは、京都大学内のみならず、全国の大学等の研究者を対象にして、学術研究にともなう科学技術計算や情報処理を行うために設置されたシステムです。

このシステムは、サービスに応じた利用負担金を支払うことで、研究者だけでなく大学院生や卒業研究を行う学部学生の方々にもご利用いただけます。

スーパーコンピュータのサービスは、大規模な科学技術計算および計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアを提供し、学術研究を支援します。

また、プログラミングやチューニングに関するコンサルティングや、プログラミング技術および各種アプリケーションソフトウェアの利用方法などを習得するための講習会を開催して、利用者をサポートしています。

・アプリケーションソフトウェアを利用する

計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアのサービスを提供しています。また、研究室では導入・維持が難しい高価なアプリケーションが、安価でしかも常に最新バージョンで使えます。

可視化	AVS/Express、Tecplot、IDL、Exceed onDemand
リモートセンシング	ENVI
数式処理	Maple、Mathematica
技術計算	MATLAB
構造解析	Adams、Nastran、Patran*、Marc、Marc Mentat*、LS-DYNA、ANSYS
計算化学	Gaussian、GaussView*、MOPAC
統計解析	SAS
デバッグ	TotalView、Arm Forge

*プリポストソフトウェア：アプリケーションソフトに対し、計算モデルの作成や結果の表示といった本計算の前後で補助的な処理を行うソフトウェア

・大判プリンタを利用する

スーパーコンピュータ利用者向けに、学会のポスターセッションなどの資料作成用として大判プリンタのサービスを提供しています。36インチ(914mm)幅の用紙にカラー印刷することができます。

システム利用案内 ① 利用には大型計算機システム利用者番号が必要です

利用資格	次のいずれかに該当する方 1. 大学、短期大学、高等専門学校又は大学共同利用機関の教員およびこれに準ずる者 2. 大学院の学生およびこれに準ずる者 3. 学術研究を目的とする国又は自治体が所轄する機関に所属し、専ら研究に従事する者 4. 科学研究費補助金等の交付を受けて学術研究を行う者 5. その他センター長が必要と認めた者
利用負担金	要(私費では利用できません)
申請窓口	情報環境機構 情報環境支援センター（スパコン担当） 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター南館 1階 TEL 075-753-7424 E-mail zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

アカウント(大型計算機システム利用者番号)取得の流れ

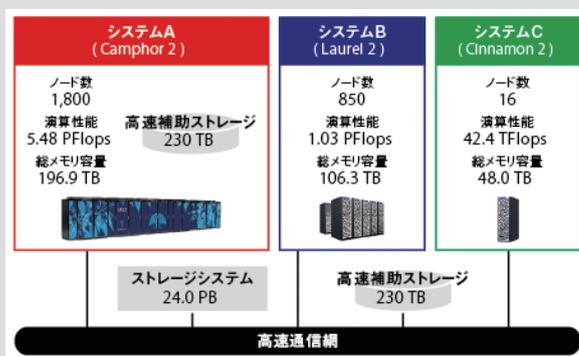


*1 大型計算機システム利用申請書：以下のWebページよりダウンロード
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/apply/>

*2 大型計算機システム利用者番号：“先頭のアルファベット1文字”に5桁の数字を加えた6文字の番号

スーパーコンピュータシステムについて

平成28年にサービスを開始したスーパーコンピュータシステムは、A、B、Cの3種類のシステムと総ディスク容量24PBの大規模ストレージ及び容量460TBの高速補助ストレージから構成されています。システムAは、ノード数1,800台、ピーク演算性能5.48PFlops、総メモリ容量196.9TBの性能・規模を有し、大規模演算が可能なシステムです。システムBは、研究室等のPCクラスと互換性が高いシステムであり、ノード数850台、ピーク演算性能1.03PFlops、総メモリ容量106.3TBの性能・規模を有しています。システムCはノードあたりの巨大なメモリ容量が特長であり、ノード数16台、ピーク演算性能42.4TFlops、総メモリ容量48.0TBの性能・規模を有しています。



データセンター情報サービス

京都大学情報環境機構の汎用コンピュータシステム内に占有または共有のバーチャルマシン（VM）を設置し、学術研究・教育等に関する情報発信・広報に利用するための環境を提供しています。

本サービスを利用することで、自前でサーバを用意することなく、サーバの運用やホームページの公開が可能になります。また、それに伴うサーバの維持管理やセキュリティ対策などに必要な労力を軽減できます。

利用手続きの流れ

本サービスの利用申請は、申請負担金システムによるWebオンライン申請となっています。

申請負担金システム：<http://sabs.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

ホスティングサービス利用者ポータルサイト

<https://hsp.d02.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

VMホスティング及びWEBホスティングサービスの利用者の方を対象としたポータルサイトで、次のような機能を提供しています。

1. サービスに関する連絡事項の閲覧

利用者メニューの[TOPページ]に、機構からの連絡事項とご利用の仮想ホスト毎の連絡メモが表示されます。連絡メモは、仮想ホストについて利用者と共同利用者が自由にメモを書き込むことができます。担当者間の連絡やホスト管理の引継などにご利用いただける機能です。

2. サービス利用状況の確認

利用者メニューの[仮想ホスト管理]をクリックすると、利用者又は共同利用者になっている仮想ホストのリストが表示されます。リスト内で[詳細表示]ボタンを押すと利用状況の確認ができます。

3. forward+ファイルによるメール転送設定の編集

仮想ホスト一覧の[メール転送]ボタン、または、[仮想ホスト詳細表示]画面の[メール転送設定]ボタンを押すとメール転送機能の転送メールアドレス設定に用いるforward+ファイルを、ポータルからより迅速に設定いただくことができます(設定は即時反映されます)。

4. Mailmanメーリングリストの新規作成申請

[仮想ホスト詳細表示]画面の[メーリングリスト申請]ボタンを押すと、WebホスティングサービスのMailmanメーリングリストの新規作成申請を行うことができます(申請内容は即時反映ではありません)。

5. FTPサーバへ接続可能なID(共同利用者)の追加と削除

仮想ホスト一覧の[共同利用者]ボタン又は[仮想ホスト詳細表示]画面の[共同利用者]ボタンを押すと、FTPサーバへ接続可能な共同利用者のIDを設定することができます。ID追加は[追加]ボタンから行います。IDを入力したあと[ID存在確認]ボタンを押すと追加可能なIDかどうかを識別できます。また、利用者は共同利用者に対し、共同利用者追加権限・ML申請権限を付与することができます。

[登録]ボタンを押すと、10分以内に登録内容が反映されFTPサーバへ接続可能となります。また、登録されたIDは共同利用者として本ポータルを利用できるようになります。

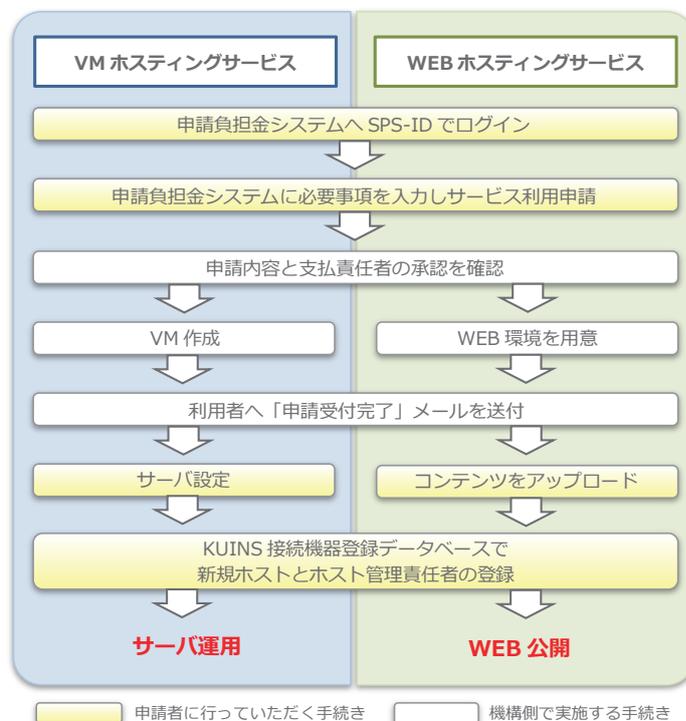
6. 業者IDの申請

利用者メニューの[業者ID申請]は「業者ID申請フォーム」へのリンクとなっており、WEBホスティングのサイト管理を外部業者へ委託される際にご利用いただける「業者ID」を申請することができます。

※SPS-ID又はECS-IDでログインできます。

※機能1～3は利用者だけでなく共同利用者の方もご利用いただけます。

※機能4～6は利用者の方のみご利用いただけます。



ホスティングサービス http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

ホスティングサービスとして下記の3つのサービスを提供します。

■VMホスティングサービス —管理者権限付きの占有サーバを利用する—

占有バーチャルマシン (VM) による独自ドメインの計算機環境 (サーバ) を提供します。本サービス利用者へ管理者 (root) 権限を付与いたしますので、自由にサーバを構築・運用し、WEBやメールのサービスを提供するネットワークサーバとして活用することができます。また、必要に応じて、搭載するディスク容量やCPUコア数・メモリを増量することも可能です (別途負担金が必要)。サーバOSは標準でCentOSを提供いたします。ほか、Ubuntu、RHEL、Windows Serverもお選びいただけます。

■WEBホスティングサービス —サーバを管理することなくホームページを公開する—

仮想ホスト機能を用いた独自ドメイン名でのWEBサイト公開環境を提供します。情報環境機構が管理する共用WEBサーバを使用するので、自身でサーバを構築・管理する必要がなく、コンテンツを管理するのみでWEBサイトを公開することができます。また、誤操作によるコンテンツの削除や上書きを元に戻す、あるいはセキュリティ侵害によるデータの改ざんを検出回復するための手段として、定期的にコンテンツのバックアップを保存し、必要なときに利用者へ提供します。

- ・WEBホスティングサービス (CGI/PHPパッケージ)
HTMLコンテンツだけでなく、Perl/Ruby/PythonのCGI/PHPによるCMSやWEBアプリケーションが動作するWEBサイト公開環境を提供します。これらを動かすためのデータベースとしてMySQLとPostgreSQLも利用可能です。
- ・WEBホスティングサービス (WordPress パッケージ)
WEBホスティングサービス (CGI/PHPパッケージ) の内容に加えて、以上の設定を施した状態で提供します。
- ・データベースなどの初期パラメータ設定を済ませたWordPressインストーラを予め設置
- ・WordPress自動更新設定 (WordPress本体及び公式プラグイン等について毎日更新の有無を確認し、更新版があれば更新を適用)

ハウジングサービス —サーバをデータセンターに預ける— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/dcs/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構のデータセンターにおいて、部局等が保有するサーバ・ラックに対する設置スペース、電源設備、空調設備、情報コンセントを提供するサービスです (利用負担金が必要)。

ハウジングに提供する計算機室は、研究用計算機室と無停電計算機室の2種類を用意しています。無停電計算機室は、自家発電機を備えており、大規模災害時や計画停電時など商用電源が利用できない場合にもサーバの稼働が可能です。ただし、電源切り替えのためUPSをご用意ください。

データセンターにおける全学的なサーバの集約化により、空調設備などへの投資経費の削減、消費電力量の削減によるCO2削減、物理的セキュリティの強化、情報セキュリティ対策コストの削減、信頼性の向上など効率的・効果的な運用・管理を実現できます。

ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

本サービスのメリット

- ・サーバ設置時に必要な、電源、空調、ネットワーク情報コンセント整備に対する投資が不要です。
- ・サーバが占有していたスペースの研究室などへの転用により、スペースの有効活用が可能です。
- ・空調設備など附帯設備の保守・維持、更新などの費用を削減できます。

ご存じですか？ハウジングサービス

部局保有のサーバをお預かりします！

サーバをお手元に保有すること
によるこのような問題を・・・

サーバを新規調達したいが、
設置する場所がない

サーバと空調機のせいで部屋が狭い、
寒い、うるさい

空調機などの維持費がかさむ

計画停電や災害時停電に備えたい

入退室管理が不徹底で不安

ハウジングサービスが
解決します！

サーバ単位 or ラック単位で
お預かりし、設置スペース・
電源・空調・情報コンセントを
ご提供します

自家発電機による最長72時間の電
源バックアップが可能

ICカードによる入退室管理
防犯カメラを設置
24時間365日の有人建物管理

まずはお気軽にご相談ください。

情報環境支援センター 075-753-7840

support@iimc.kyoto-u.ac.jp

メールホスティングサービス

メールホスティングサービスを利用する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/mail_hosting/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター (KUMail 担当) kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

部局ドメイン宛でのメールを受け取り、事前に登録されたメールアドレスに転送するサービスです。利用は無料です。ただし、本サービスにはスプール機能(メール保管場所)が無いため、転送先に設定するアドレスが受信サーバを持っている必要があります。このサービスでは、次のような利用ができますので、部局メールサーバを廃止しても、現行の部局メールアドレスをそのまま利用することができます。

- ・ 部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス(KUMail, KUMOI)に転送する。
(例) tkyodai@media.kyoto-u.ac.jp 宛でのメールを kyoudai.taro.9z@kyoto-u.ac.jp に転送する。
- ・ 部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス以外に転送する。転送先は学外でもかまいません。
(例) tkyodai@media.kyoto-u.ac.jp 宛でのメールを kyodaitaro@gmail.com に転送する。
- ・ 部局メールアドレスに届いたメールを複数のメールアドレスに転送する。メールリングリスト機能です。

転送設定はWeb インタフェースで簡便に行うことができ、また、大量の転送設定はCSV形式のデータから一括で行うこともできます。ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

利用対象と制限事項等

- ・ 利用対象：既存の「部局等のメールアドレス」です。具体的には、kyoto-u.ac.jp 配下のサブドメインに限ります。
例：[@media.kyoto-u.ac.jp]
- ・ 利用責任者：当該部局の教職員に限ります。

eラーニング研修支援サービス

サイバーラーニングスペース — 研修をeラーニング化する— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cyberlearningspace/	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

本学の教職員、学生等を対象に実施される次の(1)から(3)の研修をeラーニング型研修として実施するための支援サービスで、学習管理システム(Sakai)を使っています。

- (1)全学機構が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
- (2)事務本部に置かれている部、課その他これに相当する組織が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
- (3)部局が当該部局の全教職員又は学生等に対して実施する研修

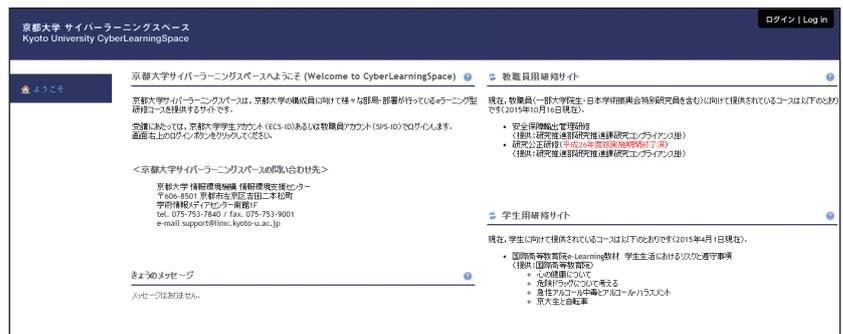
本サービスでは、教材を作成するためのコンサルティング、システムへの教材登録、受講対象者管理、受講状況管理などの支援を提供します。

各部局等でeラーニング型研修の実施希望がある場合は情報環境支援センターまでご連絡ください。

eラーニング研修システム直接 URL <https://cls.iimc.kyoto-u.ac.jp/portal/>

eラーニング研修支援(サイバーラーニングスペース)で提供している研修一覧(平成30年4月現在(準備中を含む))

- ・安全保障輸出管理研修(研究推進部)
- ・TAの着任前研修(生命科学研究科、工学研究科、医学研究科)
- ・学部新入生向けコンプライアンス研修(危険ドラッグ、メンタルヘルス、自転車、アルコール等、アカデミックライティング、京都大学の英語教育)
- ・治験/臨床研究 e-Learning
- ・医療安全教育研修
- ・動物実験教育訓練
- ・霊長類取扱教育訓練
- ・ライフサイエンス研究関連法令基礎研修
- ・派遣留学生のための健康と安全に関するe-Learning研修
- ・受入留学生のための健康と安全に関するe-Learning研修
- ・情報セキュリティ e-Learning
- ・医の倫理委員会事務局が開催する臨床研究等倫理講習会
- ・RI再教育訓練
- ・CiRA 動物実験施設利用者講習



iPad ペーパーレス会議システム

iPad ペーパーレス会議システムを利用する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/other/paperlessmeeting/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報推進課電子事務局 ecomt-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

会議資料のペーパーレス化によるコスト削減および資料作成作業の軽減等を目的に、iPadを用いたSaaS(Software as a Service)型ペーパーレス会議システムを提供しています。

このサービスは、個別にサーバを用意する必要がなく、iPadのみあれば利用できます。

本サービスは部局単位での利用に限らせていただいています。2018年1月現在、30部局、合計1,500台以上のiPadで運用しています。

iPadの会議システムで必須となる無線LANは、KUINS提供の学内無線LANが利用できます。部局で新たに無線LAN環境を整備する必要がなく、場所を限定せずにペーパーレス会議を行うことが可能です。

その他の特徴として、議事次第機能や投票機能をはじめ、部局でニーズの高い機能を多数実装し、高度なセキュリティ対策を実施しています。

キャンパス ICT ラボ — 京都大学のための ICT システムの実験場 —

キャンパス ICT ラボとは、大学に必要とされる ICT サービスを見極めるために、先進的なサービスを試験的に導入してテスト利用していただく場です。

- ・実験的なシステムを構築・公開してみたい方と、それを使ってみたい学内(時には学外も!)の方が対象です
- ・開発中、又は動作実績がないシステムでも構築・公開でき、ユーザに使ってもらうことで実践的な検証が行えます
- ・京都大学に関するユニークなシステムや最新のシステムを利用することができます。(ただし、動作保証はありません!)

テスト利用の結果を反映して、正式なサービスとして導入したり、より良い別のサービスへ移行したり、試行サービスを終了する場合があります。

キャンパス ICT ラボ <http://www.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

[キャンパス ICT ラボで試行しているサービス・開発したサービス]

クラウドストレージサービス(Nextcloud) https://nextcloud.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

PCやスマートフォンなど複数のデバイス間で、ご自身の管理するファイルを自動的に共有することができます。

また、ファイルやフォルダを他の利用者に公開したり、他の利用者と共に共有してファイルを読み書きしたり、オンラインで共同で編集することもできます。

短縮 URL サービス(KNIVES) http://u.kyoto-u.jp	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

KNIVES (Kyoto uNIVersity url shortner) は、京都大学のドメイン名を持つ Web ページに対して、<http://u.kyoto-u.jp/ooooo> という形式の短縮 URL を生成できるサービスです。

SPS-ID を持つ教職員が短縮 URL を登録することができます。

短縮 URL から正式な URL へのリダイレクト(転送)は、誰でも利用できます。

メールで長い URL が折り返されて困る場合や、紙に記載する URL を短くまとめた場合などに是非ご利用ください。

独自アカウントの自動配布システム	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

学内の統合認証システムを利用できないシステムでは、個人認証のために独自アカウントを利用しなければならない場合があります。独自アカウントを配布するために、従来は学生証や職員証などで本人確認をして手作業で配布し、記録を適切に管理する必要がありました。

本システムを利用すると ECS-ID や SPS-ID で認証した利用者に独自アカウントを配布できます。管理者向けの機能として、独自アカウントの配布状況一覧表示、残りアカウント数が少なくなった場合の警告メッセージ表示、独自アカウントの追加登録、などがあります。利用を希望される方はお問い合わせください。

コンテンツ配布サービス(kubar) https://kubar.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

kubar {ふりがなとして：くばー} (Kyoto University Buffet ARea) は、京都大学の全学生・全教員向けのコンテンツ配布サービスです。ECS-ID か SPS-ID で認証すれば、いつでもどこからでも自由にアクセスできます。

学生や教職員が自由に利用できるコンテンツやソフトウェア等の配布に利用できます。

第一弾のコンテンツとして、ネットワーク社会の中で学生が安全かつ有効にインターネットを利用していくための基礎知識を身近な問題をテーマに学習することができるビデオクリップ集「情報倫理デジタルビデオ」を配布します。

このサービスで配布したいコンテンツのある方はお問い合わせください。

ソフトウェアライセンス管理

ソフトウェアライセンスを管理する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismc/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報推進課情報基盤掛(ソフトウェアライセンス管理担当) ismc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

不正コピーしたソフトウェアを使用したり、許可されたライセンス数を上回る利用者で同一ソフトウェアを使用したりするといった行為は、ライセンス違反の対象となり、著作権法違反としてコンプライアンス違反や高額な違反金を請求されるリスクが高まります。

以下の事項に留意して、ソフトウェアは適正に使用してください。

- ・ソフトウェアは、正規品を正しい流通経路(正規販売代理店、メーカー直販等)で入手し、WEB等より海賊版ソフトウェアを入手しない。
 - ・クラックツール(ソフトウェアの仕組みを不正に改変するツール)を入手しない。
 - ・ソフトウェアは、「使用許諾契約書」に則って適正に使用し、不正コピーや不正な改変は行わない。
- また、これらのリスクを避けるためには、ソフトウェアライセンスを適切に管理する必要があります。
- ・購入したソフトウェアは、媒体(CD、DVD、WEBからのダウンロード等)を問わず、関係者以外の手に触れないように適切に管理する。
 - ・購入したソフトウェアのライセンス証書や使用許諾契約書は、必要に応じてすぐに確認できるように、適切に保管する。
 - ・情報機器の管理責任者は、インストールされているソフトウェアを把握し、適正に使用されていることを定期的に確認する。

本学ではソフトウェアのライセンス管理は各部局で責任を持って行っていただくこととなっています。

各部局におけるライセンスの管理では、部局全体を纏める部局総括管理者と、各専攻もしくは研究室を纏める管理者を選出していただき、事務系組織(技術を含む)、教育研究者組織でそれぞれ年1回使用状況を報告していただいています。

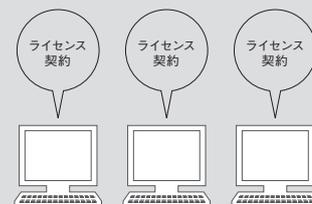
ソフトウェアのライセンス形態

コンピュータのソフトウェアは著作物として著作権法によって作者の権利が保護されています。その利用に際してはソフトウェアの提供者との契約を行い利用許諾(ライセンス)を受けなければなりません。

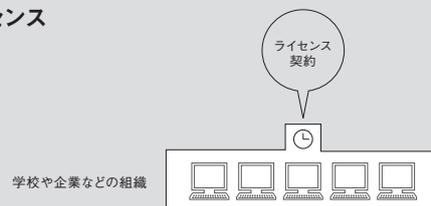
ソフトウェアのライセンスには様々な形態があります。個々のコンピュータごとの利用契約のほか、組織全体での利用契約(サイトライセンス)や、複数台のコンピュータにインストールしたうえで、同時に稼働するソフトウェア数をサーバ等で管理するフローティングライセンス等があります。

ソフトウェアの利用にあたっては利用契約に基づいた適正な利用が求められます。

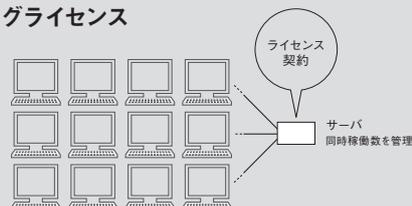
個々のコンピュータ毎のライセンス



サイトライセンス



フローティングライセンス



ソフトウェアのライセンス契約サポート http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismc/	対象者	教職員・学生
	問い合わせ先	情報推進課研究情報掛 740kenkyujoho@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ソフトウェアには、

- ① 文書や表、プレゼンテーション資料作成用のいわゆる電子文房具ソフト
 - ② 図や写真、ビデオ、音楽編集用のマルチメディアデザインソフト
 - ③ メールや遠隔会議用のコミュニケーションソフト
 - ④ マルチメディア語学教育やe-learning用の教育用ソフト
- といった一般的なソフトウェアから
- ⑤ 数式、信号処理用ソフト
 - ⑥ 大規模高速計算用ソフト
 - ⑦ 統計処理ソフト
 - ⑧ 化学分析ソフト
 - ⑨ 地理情報分析ソフトなど

専門的な教育研究に使われる専用ソフトウェアまで多種多様なものがあります。

これらのソフトウェアは、従来は各研究室、事務室が必要に応じて独自に購入し利用してきましたが、①～④の一般ソフトウェアについては、大学としてキャンパスライセンスを取得し、これを購入することによって、大学全体としてのソフトウェア購入経費が削減できます。また、⑤～⑨といった専用ソフトウェアについても、利用する研究室がまとめてグループライセンスを取得することによって、同様の効果を得ることができます。

ソフトウェアライセンス管理担当では、こういったソフトウェアライセンス取得のための学内調整、事業者との交渉、契約を行っています。

京都大学としてキャンパスライセンス契約しているもので、生協に販売を委託しているソフトウェア

- ・マイクロソフト包括ライセンス
詳細につきましては、以下の京大生協生活協同組合ホームページにて公開されています。
http://www.s-coop.net/information_seikyo/017722.php
- ・Adobe CLP ライセンス
- ・JUSTSYSTEM 教育機関向けライセンス
- ・symantec アンチウイルスライセンス
- ・ナショナルインスツルメンツ社(LabVIEW キャンパスサイトライセンス、LabVIEW Eラーニングコース、Multisim キャンパスサイトライセンス)
- ・モリサワフォント認定校用ライセンス

研究室等がまとめてグループライセンス契約しているもので、グループへの参加が増えるほど利用料金が安価になるソフトウェア

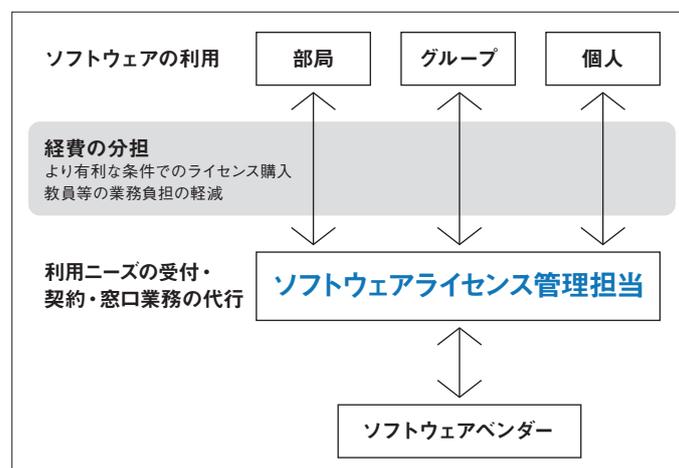
- ・MAPLE
- ・ChemBioDraw Ultra
- ・ArcGIS

研究室等がまとめてグループライセンス契約しているもので、グループへの参加が増えても利用料金は変化しないソフトウェア

- ・MATLAB

※その他のライセンス契約

- ・Apple 社の教育機関向け Volume Purchase Program(VPP)



情報環境機構 施設案内

情報環境機構では、以下の施設を設置しています。利用に関する問い合わせは下記までご連絡ください。

問い合わせ先 情報環境支援センター TEL 075-753-7840 support@iimc.kyoto-u.ac.jp

学術情報メディアセンター北館

大判プリンタ出力室

スーパーコンピュータシステム利用者のための出力サービスとして、大判プリンタ(36インチ幅ロール紙)が設置されています。

利用時間 平日 9:00~17:00

対象 スーパーコンピュータ利用者

利用申込 不要



学術情報メディアセンター南館

オープンスペースラボラトリ (OSL)

教育用コンピュータシステムのPC端末24台を設置しています。

利用時間 平日 9:00~20:00

土曜 10:00~18:00

対象 本学の教職員・学生

利用申込 不要



ラーニングコモンズ

グループ学習などにご利用ください。

会話もOK、机・いすのレイアウト変更が可能です。

利用時間 平日 9:00~20:00

土曜 10:00~18:00

対象 本学の教職員・学生

利用申込 不要



マルチメディア講義室

情報コンセントを備えた120名分の座席と100インチの背面投射型スクリーン3面や音響設備を備えています。隣接する講義室と映像および音声を結んで講義を行うことも可能です。また、高精細遠隔講義システムが設置されているので、キャンパス間や学外との間で遠隔講義を行うことも可能です。

利用時間 平日 8:45~18:00

(時間外は要相談)

対象 本学の教職員・学生(授業専用)

利用申込 必要



マルチメディア演習室

教育用コンピュータシステムのPC端末71台と100インチの短焦点プロジェクタ3台、資料の提示装置、音響設備を備えています。隣接する演習室と映像および音声を結んで演習を行うことも可能です。

利用時間 平日 8:45~18:00

(時間外は要相談)

対象 本学の教職員・学生(授業専用)

利用申込 必要



総合問い合わせ窓口：情報環境支援センター

情報環境機構では、「本学の情報基盤の充実およびこれに基づく情報環境の整備等を推進する」ための全学組織として、学術情報ネットワーク(KUINS)、統合認証基盤、全学メール(KUMOI、KUMail)など、様々なITサービスを提供しています。

機構で提供しているこれらのITサービスに関する問い合わせや、機構に対するご要望等がありましたら、情報環境支援センターまでお気軽にご連絡ください。

情報環境支援センター

連絡先：606-8501 京都市左京区吉田二本松町 学術情報メディアセンター南館1階

TEL. 075-753-7840 FAX. 075-753-9001

E-mail : support@iimc.kyoto-u.ac.jp



2018年度 京都大学情報環境機構サービスガイドブック

2018年4月1日発行

京都大学情報環境機構 情報環境支援センター
 〒606-8501京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター南館1階
 TEL.075-753-7840、7842 FAX.075-753-9001
 E-mail support@iimc.kyoto-u.ac.jp
 URL http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/